

千代田中だより

学校経営方針 「チーム千代田」

文責：本橋 一夫

坂戸市立千代田中学校 第24号 令和5年11月24日

学校教育目標
自立の力を育む

- ・志を立て、自ら意欲的に学ぶ生徒
- ・思いやりと感謝の心を持ち、
集団に貢献する生徒
- ・心身を鍛え、たくましく生きる生徒

目指す学校像

- ・笑顔と感動あふれ
地域に信頼される学校

芸術文化、スポーツの秋

11月1日は、埼玉県では、「彩の国教育の日」と設定し、7日までの1週間を「彩の国教育週間」と位置付けています。この近辺では、県内の多くの学校が様々な取組を行っています。この期間にしっかりと併せてということにはなかなかいきませんが、千代田中でも、11月に入ってから、芸術文化、スポーツの取組を行いました。

11月15日には2年生の、16日には3年生の持久走大会を実施しました（1年生については17日を予定していましたが、雨天のため中止としました）。

各学年ともに、男女別に走力によって三つのグループに分けて、2000mを走りました。走るのが得意な子、苦手な子、それぞれですが、自分の持てる力を発揮して一生懸命に走る姿には多くの感動をもらいました。保護者の皆様にも応援いただき、ありがとうございました。



15日の午後には、伝統芸能鑑賞教室を開きました。プロの落語家、常磐津節演者、三味線奏者、太神楽曲芸人をお呼びしての教室でした。

落語も常磐津節も、そして、太神楽曲芸も江戸時代から今に脈々と受け継がれてきた伝統芸能です。

当日は、常磐津節を鑑賞したり、代表生徒が落語の出囃子や太神楽曲芸の体験をしたり、落語を聞いたりと伝統芸能に浸っていました。

出囃子の体験では、6人の代表生徒が、次々に違う出囃子を三味線にあわせて、太鼓をたたくというものでしたが、非常に上手にできていて、指導者の落語家さんみたいへん驚いていました。

また、この行事の中で私が特に驚いたのは、生徒たちが、落語を聞いて大うけしていたことでした。プロの話術や演技のすごさはもちろんなのですが、伝統芸能が秘めているパワーを感じました。

生徒も大変よい体験ができたと思います。

